

令和5年度 得意な才能を伸ばす教育（芸術）

1 事業目的

芸術分野に得意な才能をもつ生徒に対し高度な芸術分野の教育プログラムを構築するとともに、生徒一人一人の芸術分野の才能を伸ばし、世界を牽引する芸術家の育成を目指す。

2 対象

都立高校等に在籍する第1学年生徒（第1期）約20名 ※2年間のプログラム

3 プログラム内容

基調講演 令和5年11月5日
東京藝術大学 教授 渡邊 五大 先生
テーマ「芸術を学ぶことについて」

(1) 講演プログラム

第1回 令和5年11月23日

講演者	東京音楽大学 学長 野平 一郎 先生
テーマ	「ある音楽家の軌跡」～目と耳を開いて世界を知る～

第2回 令和6年1月8日

講演者	東京藝術大学 学長 日比野 克彦 先生
テーマ	「自分を表現する」



(2) 探訪プログラム

実施日：令和5年11月18日、11月23日、12月23日

日付	訪問先	内容
11/18	東京藝術大学大学美術館	「芸術未来研究場展」視察、学芸員講義
11/23	新国立劇場	オペラ「シモン・ボッカネグラ」鑑賞、バックステージ視察
12/23	国立新美術館	大巻伸嗣「Interface of being 真空のゆらぎ」鑑賞、大巻藝大教授による解説・講義



東京藝術大学大学美術館



新国立劇場



国立新美術館

(3) 大学の研究者による指導（2大学4講座）

①指導プログラム 令和5年11月19日から令和6年1月14日のうちの2日間または3日間

・大学の教授等による講義や専門的な指導を受け、制作等を行った。

大学名	教授名	指導内容
東京藝術大学	教授 谷岡 靖則	鍍金「自然が持つ偶然の美を体験しよう！」
東京藝術大学	准教授 山田 菜々子	染織「織物を構造から学ぼう！繊維から糸、糸から布へ」
東京音楽大学	特任教授 柴山 拓郎	ミュージックビジネステクノロジー 「音楽×科学〜」PCを使ったサウンド「モタージュ」
東京音楽大学	教授 服部 洋一	声楽「発見しよう！君にしかない美しく自然な歌声を！」



②指導研究発表会 令和6年1月21日（日）

・指導の内容や制作物等について、グループごとに発表



(4) オンライン学習の支援

・一人1台端末を活用し、(1)～(3)のプログラムに関連するオンライン学習を行う。

4 参加した生徒の声

- ・将来、芸術を専門的に学ぶに当たり、実際に芸術を職業にしている先生の話聞いて、具体的なイメージがもてて本当に良かった。
- ・芸術に関する様々な場所で多くの人に話を聞き、作品を見ることができたのは、自分の財産になった。指導プログラムは、大変楽しく有意義な経験だった。